第73回国民体育大会出場選手激励会

ベストを誓って全員でガッツポーズ

9月19日、第73回国民体育大会に出場される、笠松町にゆかりのある選手の皆さんの激励会を行いました。

広江町長が「それぞれ競技は違いますが、練習の成果を発揮できるよう頑張ってください。これまでの皆さんの努力に敬意を表しますとともに、国体でのご活躍を期待しています。」と激励の言葉をかけると、選手代表の三浦 昴さんは、「岐阜県代表として良い結果を出せるよう、精一杯頑張りますので、応援をよろしくお願いします。」と応えました。

上位入賞者の結果は次のとおりです。（敬称略）

○レスリング成年男子（フリースタイル86kg級）	鈴木 聖二	ベスト4
○ボクシング少年男子（ピン級）	小川 翼	準優勝
（バンダム級）	橋本 仰未	ベスト8
（ライトウェルター級）	今村 仁	ベスト4
○バレーボール少年男子	吉田 恭悟	第5位
○フェンシング少年女子（フルーレ）	武藤 未澪	第6位

皆の衆、いざ出立!

「鮎鮨街道ウォーク」

江戸時代の宿次を再現しました

江戸時代、尾張藩は長良川の鵜飼で捕れた鮎を「熟れ鮨」にして将軍に献上しました。

9月23日、その歴史にちなんで、鮎鮨を献上するために通った街道を歩く「鮎鮨街道ウォーク」が行われました。

福祉会館を出発し、高嶋家（下新町）前では、衣装を着た町内の小・中学生が鮎鮨荷を宿次し、当時の様子を再現しました。

ゴールの笠松みなと公園あずまやでは、参加者の方々に文化協会会員による手作りのアユ雑炊が振る舞われました。

プログラミングに挑戦

プログラミング体験学習

発光時間を変える方法を考える子どもたち

10月11日、歴史未来館でプログラミングの体験学習が行われ、たくさんの親子連れが参加しました。

講師を務められた岐阜大学名誉教授の尾崎 浩巳さんは、人間が色々な器官から得た外部の情報を脳で判断して行動を起こすプロセスや、車の自動運転技術などを例にプログラミングについてわかりやすく解説されました。

実際にプログラミングに挑戦した子どもたちも、自分で入力した指示どおりにLED電球が発光する面白さを体感し、プログラミングを身近に感じられる貴重な体験となりました。